

90. 母子世帯に関する統計

2) 母の就業状況

	総数	就労して いる	就業上の地位				不就業
			事業主	常用雇用者	臨時・パート	その他	
千世帯							
総数	954.9 (100.0)	810.4 (84.9) (100.0)	46.0 (5.7)	410.7 (50.7)	310.9 (38.3)	42.8 (5.3)	130.2 (13.6)
死別	178.8 (100.0)	139.9 (78.3) (100.0)	8.4 (6.0)	62.2 (44.5)	58.9 (42.1)	10.4 (7.4)	33.0 (18.5)
生別	763.1 (100.0)	662.1 (86.8) (100.0)	36.3 (5.5)	345.3 (52.1)	248.1 (37.5)	32.4 (4.9)	96.5 (10.1)

厚生労働省調べ

- (注) 1. 1998年の数字
 2. 「常用雇用者」とは、会社、団体、官公庁等に雇用期間について別段の定めなく雇われている者をいい、「臨時・パート」とは、臨時、日雇い雇用者をいう。
 3. 「その他」は、家族従業者等である。
 4. 総数は、不詳を含んだ値である。

3) 母の就業状況及び転職希望の有無(%)

総数	就労している			不就業
		仕事を 続けたい	仕事を 変えたい	
100	84.9 (100.0)	(68.8)	(29.2)	13.6 (2.0)

厚生労働省調べ

- (注) 1. 1998年の数字
 2. 総数は、不詳を含んだ値である。

4) 1997年の年間収入状況

		母子世帯	一般世帯
平均世帯人員		3.16人	2.95人
平均有業人員		1.05人	1.42人
平均収入金額		229万円	658万円
分布 の 代 表 値	第 4 分位値	118万円	298万円
	第 4 分位値 (中央値)	194万円	536万円
	第 4 分位値	291万円	866万円
世帯人員1人当たり平均収入金額		73万円	223万円
有業人員1人当たり平均収入金額		218万円	388万円

厚生労働省調べ

- (注) 全世帯の所得を合算し、これを所得の低いものから高いものへと順に並べて4等分し、所得の低い世帯群から第・第・第及び第4分位階級とし、その境界値をそれぞれ第・第及び第4分位値とよぶ。